

貯法等 保存条件：室温保存  
容 器：気密容器

## カルシウム剤

\* 日本薬局方 乳酸カルシウム水和物

# 乳酸カルシウム「ヤマゼン」

### 【禁忌】（次の患者には投与しないこと）

- (1) 高カルシウム血症の患者〔症状を悪化させることがある。〕
- (2) 腎結石のある患者〔症状を悪化させることがある。〕
- (3) 重篤な腎不全のある患者〔腎不全を悪化させることがある。〕

### \*【組成・性状】

組成：本品1g中、日本薬局方 乳酸カルシウム水和物1gを含有する。

性状：本品は白色の粉末又は粒で、においはなく、味はわずかに酸味がある。

### 【効能・効果】

○低カルシウム血症に起因する次の症候の改善

テタニー

○次の代謝性骨疾患におけるカルシウム補給

妊婦・産婦の骨軟化症

○発育期におけるカルシウム補給

### \*【用法・用量】

乳酸カルシウム水和物として、通常成人1回1gを1日2～5回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

### 【使用上の注意】

#### 1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- (1) 活性型ビタミンD製剤を服用している患者〔高カルシウム血症があらわれやすい。〕
- (2) 強心配糖体の投与を受けている患者〔強心配糖体の作用を増強するおそれがある。〕
- (3) 高カルシウム血症があらわれやすい病態の患者

#### 2. 重要な基本的注意

長期投与により血中及び尿中カルシウムが高値になることがあるので、長期投与する場合には定期的に血中又は尿中カルシウムを検査することが望ましい。また、高カルシウム血症があらわれた場合には投与を中止すること。

#### 3. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬 剤 名 等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ジギタリス製剤 ジゴキシン ジギトキシン	ジギタリス中毒（不整脈、ショック）があらわれることがある。 定期的にジギタリス中毒の有無に注意を配り、心電図検査を行い、必要に応じてジギタリス製剤の血中濃度を測定し、異常が認められた場合には、ジギタリス製剤を減量若しくは中止する。	ジギタリス製剤の作用を増強する。
テトラサイクリン系抗生物質 ミノサイクリン ドキシサイクリン テトラサイクリン等	テトラサイクリン系抗生物質の作用が減弱することがある。 同時服用を避け、併用する場合には1～3時間以上あけるなど注意する。	カルシウムイオンはキレート化により、テトラサイクリン系抗生物質の吸収を阻害する。
ニューキノロン系抗菌剤 塩酸シプロフロキサシン ノルフロキサシン トシル酸トスフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤の作用が減弱することがある。 同時服用を避け、併用する場合には2時間以上あけるなど注意する。	カルシウムイオンはキレート化により、ニューキノロン系抗菌剤の吸収を阻害し、血中濃度を低下する。

#### 4. 副作用

本剤は、使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

##### その他の副作用

種類	頻度	頻度不明
長期投与		高カルシウム血症、結石症
その他		便秘

#### 5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、減量するなど注意すること。

##### 【薬物動態】

経口投与において、投与量の約33%が消化管より吸収される。吸収は年齢と共に減少するが、体内でカルシウムが不足した時は上昇し、またビタミンDの活性代謝物も吸収を増加させる。尿、胆汁、唾液、汗、唾液、ふん便、母乳など種々の経路より排泄され、この内尿中には毎日400mg前後が排泄される。

##### 【薬効薬理】

血清カルシウム値が低下した際に、カルシウム値を上昇させる。血漿中カルシウムイオンが欠乏すると神経系及び筋肉系の興奮性が高まって疲労しやすくなり、横紋筋はけいれんを起こす。本薬の投与により鎮静、けいれん軽減の作用を示す。カルシウムは無機栄養素としても重要で、歯や骨の主成分である。

##### \* 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：乳酸カルシウム水和物 (Calcium Lactate Hydrate)。

分子式： $C_6H_{10}CaO_6 \cdot 5H_2O$

分子量：308.29

性状：本品は白色の粉末又は粒で、においはなく、味はわずかに酸味がある。本品1gは水20mLに徐々に溶け、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。本品は常温でやや風解し、120℃で無水物となる。


【包装】 500g

\* 【主要文献】 第15改正日本薬局方解説書(2006) 廣川書店

【文献請求先】 山善製薬株式会社 学術室 TEL 06-6231-1821 FAX 06-6231-1824  
〒541-0045 大阪市中央区道修町2丁目2番4号

項目	内容
性状	本品は白色の粉末又は粒で、においはなく、味はわずかに酸味がある。本品1gは水20mLに徐々に溶け、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。本品は常温でやや風解し、120℃で無水物となる。
包装	500g
主要文献	第15改正日本薬局方解説書(2006) 廣川書店
文献請求先	山善製薬株式会社 学術室 TEL 06-6231-1821 FAX 06-6231-1824 〒541-0045 大阪市中央区道修町2丁目2番4号

製造販売元

 **山善製薬株式会社**  
大阪市中央区道修町2丁目2番4号

